

\*\*\*\*\*

**メ〜テレ 狩野隆也社長 定例会見**  
**朝の「ドデスカ！」・60周年の取り組みで視聴率好調**  
**WBCの歴史的な高視聴率に「テレビの持つ力を再認識」**  
**4月に新報道ヘリコプター導入で災害報道を充実**

\*\*\*\*\*

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、3月24日（金）に狩野隆也（かの・たかや）社長の定例会見を開きました。

会見で狩野社長は、2022年度の個人全体視聴率が、朝の情報ワイド番組「ドデスカ！」の好調や60周年の取り組みなどにより、9年ぶりに「全日帯」「ゴールデン帯」「プライム帯」「ノンプライム帯」の4区分で2位となる見込みであることを明らかにしました。

また会見では、WBCの「準々決勝 日本対イタリア戦」の個人全体視聴率が29.6%と、現在の調査形式が始まった2005年4月以降、民放局の全番組中で歴代最高だったことが紹介され、狩野社長は「スポーツの迫力を“生”で伝えるテレビの持つ力を、我々も改めて認識する機会となった。」と語りました。

このほか、4月からの南海トラフ地震などに備えた災害報道の充実に向けた施策として、新しい報道ヘリコプターの導入や、在名民放で初となるテレビ画面への「災害・避難情報」の自動表示の開始を発表しました。



メ〜テレ 狩野隆也社長

狩野社長の冒頭あいさつの内容は以下の通りです。

狩野でございます。日頃から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

1年前の4月1日、メ〜テレは開局60周年を迎え、1年間、地域の皆様に多くのコンテンツをお届けしてまいりました。

60周年を迎えるにあたり、メ〜テレはこの節目の年に生まれ変わるべく、新しいキャッチコピー「メ〜ロメロ！メ〜テレ」を掲げました。

「メ〜テレは地元で“メ〜ロメロ！”です！」という、熱い想いを地域の皆さんに伝えるため、積極的に汗を流そうという思いが込められています。

60周年期間は今月で終わりますが、4月以降も、この「メ〜ロメロ!」の想いを、更に強く皆さんに届けるべく、メ〜テレグループ全員が一丸となって取り組んでまいります。

それでは、始めに視聴率からご報告させていただきます。

2022年度の視聴率は4月2日をもって確定しますが、今の時点での個人全体視聴率は、「全日帯」「ゴールデン帯」「プライム帯」「ノンプライム帯」の4区分が、いずれも「2位で」推移しています。この4区分で2位以上となるのは、当社としては2013年度以来9年ぶりです。

自社制作番組、朝の「ドデスカ!」好調をはじめ、60周年での取り組みの成果が表れたものと感じています。

また、先日のWBCでは、社会現象ともいえる盛り上がりの中、テレビ中継も非常に高い視聴率を記録しました。スポーツの迫力を“生”で伝えるテレビの持つ力を、我々も改めて認識する機会となりました。

ユニバーサルサービスとして、多くの人に同時にご覧いただけるテレビ放送の特徴が十分に発揮できました。

続いて、今期の決算の見込みについてご説明します。当社は3月決算です。

前期にコロナ前の水準に近いところまで回復したテレビ広告市況ですが、今期はロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の不安定化、急激な円安、物価高などの影響で市況の停滞が続きました。当社は、開局60周年企画として取り組んだ内海のイベントや、栄での「ドデ祭」、フィギュアスケート「Fantasy on Ice 2022 in NAGOYA」など、ローカルタイムや大型イベントで堅調なセールスを実施することができましたが、スポット収入が前期に届かない見込です。

詳細につきましては、5月下旬頃、決算が確定した後に、経済記者クラブで説明させていただく予定です。

メ〜テレでは、時代の変化に対応しながら、これまでの“テレビ局”の枠を超えて成長していくことを目指し、2021年4月から3年間の第5次中期経営計画を進め、「地上波放送事業」「コンテンツビジネス」「新規事業」の3本柱に取り組んできました。

来期について、まず「地上波放送事業」では、4月改編で、メ〜テレの強みである情報ワイド番組「ドデスカ!」「アップ!」をさらに強化します。特に今期は、メ〜テレが朝ワイド番組をスタートして35年、「ドデスカ!」というタイトルになって20年という節目の年でした。その1年の締めくくりとして、週末にメ〜テレ本社と東別院で実施するイベント「サクラベツイン」の中で、3月25日午前11時から、特別番組「とびだせ!春のドデスカ!まつり in サクラベツイン」を放送します。

また4月から毎週土曜に、今年30周年を迎えるJリーグ、そしてサッカーを盛り上げる番組「KICK OFF! TOKAI」がスタートします。「名古屋グランパスエイト」と「FC岐阜」を中心に、番組を通じてこの地域の盛り上げに貢献できればと考えています。

「コンテンツビジネス」では、メ〜テレは番組制作で培った映像制作のノウハウを生かし、かねてから映画事業に積極的に取り組んできました。

今期は5本の幹事映画を制作し、中でも「ケイコ 目を澄ませて」では、主演の岸井ゆきのさんが日本アカデミー賞の最優秀主演女優賞を受賞するなど、高い評価をいただきました。

来期も、60周年映画「女子大小路の名探偵」の公開を予定しています。地元が舞台ということで、ぜひこの地方の皆さんに愛される作品にしようと鋭意制作中です。

「新規事業」においては、昨年10月、後継者不足に悩む企業をサポートする、「メ〜テレマッチング」というサービスをスタートしました。こちら、この地域が抱える課題の解決に貢献したいという、“地元を愛する思い”がベースとなった取り組みです。

2023年3月24日

来期は第5次中期経営計画の最終年度となります。これまで進めてきた施策の仕上げとともに、将来を見据え中長期的な環境変化に対応する、デジタル領域を含めたあるべきメ～テレグループの姿を描きながら、第6次中期経営計画へとさらに進化させる1年として取り組んで参ります。

私からは以上です。ご清聴ありがとうございました。



狩野隆也社長と  
「ドデスカ!」島津咲苗アナウンサー(左)、  
竹田基起アナウンサー(中)、小松崎花菜アナウンサー(右)



狩野隆也社長と  
4月から「メ～ロ! アンバサダー」として活動する  
望木聡子アナウンサー(中)  
松崎 杏香 (まつざき きょうか) アナウンサー(左)  
尾形 杏奈 (おがた あんな) アナウンサー(右)  
(※松崎アナ、尾形アナは4月入社 of 新人)

以上